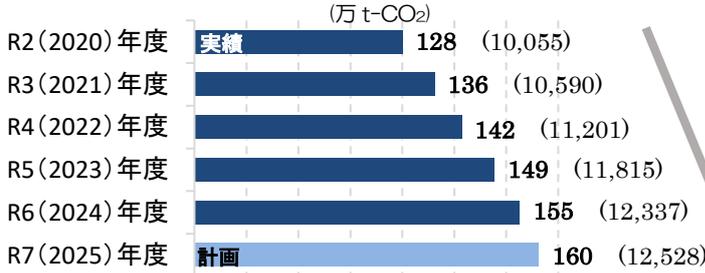


➤ 省エネ対策の実施・計画状況の分析

《対象事業所が実施・計画している対策による削減量》



第四計画期間に向け、新たな削減対策が計画されており、今後も削減が進む見込

〈計画書に記載された削減対策〉

※ ( )内は対策数  
※ 令和8 (2026) 年2月10日時点の集計値

熱源・空調・照明の削減対策	件数	削減量 (t)	熱源・空調・照明の削減対策	件数	削減量 (t)
高効率熱源機器の導入	437	149,300	夏季居室の室内温度の適正化・クールビズ	101	17,013
高効率空調用ポンプ及び省エネ制御の導入	312	24,679	ウォーミングアップ制御の導入	25	440
高効率空調機の導入	460	43,751	室使用開始時の空調起動時間の適正化	129	9,937
高効率パッケージ形空調機の導入	112	9,873	ビルエネルギーマネジメントシステムの導入	39	7,743
空調機の変風量システムの導入	38	5,626	デマンドコントローラー	7	6,199
外気冷房システムの導入	245	22,730	照度条件の緩和	208	12,964
CO <sub>2</sub> 濃度による外気量制御の導入	120	18,349	居室の昼休み及び時間外の消灯及び間引き消灯	19	557
全熱交換機の導入	43	4,187	エレベーターの省エネ制御の導入	251	7,432
高効率ファンの導入	253	14,889			
高効率照明及び省エネ制御の導入	2,829	212,875	上記以外の対策も含めた合計	12,528	1,595,749

➤ 低炭素電力・熱の利用状況

《義務達成手段の一つとして低炭素電力・熱を選択》

- 都が認定するCO<sub>2</sub>排出係数の小さい供給事業者\*から電気又は熱を調達した場合に、CO<sub>2</sub>削減分として認める仕組みを活用

《令和6 (2024) 年度に低炭素電力・熱を選択した事業所》

種別	低炭素認定供給事業者数	本仕組を活用した事業所	
		事業所数	削減量 (合計)
低炭素電力	19 事業者	135 事業所	約 263,738 t-CO <sub>2</sub>
低炭素熱	49 事業者 (区域)	187 事業所	約 53,752 t-CO <sub>2</sub>

※第三計画期間の供給事業者の認定要件

- [低炭素電力] CO<sub>2</sub> 排出係数が 0.37t-CO<sub>2</sub>/千 kWh 以下 (基礎排出係数と調整後排出係数のいずれか低い値)
  - [低炭素熱] 熱のエネルギー効率(COP)が次の値以上、かつ、CO<sub>2</sub> 排出係数が 0.060t-CO<sub>2</sub>/GJ 未満
- ①蒸気が含まれている場合 : 0.85 ②蒸気が含まれていない場合 : 0.90

➤ 第三計画期間の義務履行の見通し (参考値)

《令和6 (2024) 年度実績に基づく義務達成事業所割合》

